

学部だより

2005年度 卒業生、修了生の進路

学部卒業 88名：進学71名（千葉大学70名，他大学1名），病院・薬局10名，企業6名（ゼリア新薬，興和など），その他1名。

修士修了 93名：進学13名（千葉大学12名，他大学1名），病院・薬局（公務員を含む）22名，企業57名（東レ3名，第一三共，エーザイ，中外製薬，塩野義製薬，田辺製薬，萬有製薬，あすか製薬，ゼリア新薬，小野薬品，白鳥製薬，東京CRO，メディサイエンスプランニング各2名など），その他1名。

博士修了 20名：千葉大学，共立薬科大学，放射線医学総合研究所，シリパコン大学，武田薬品，ロート製薬，持田製薬，常磐植物化学研究所，日本シェーリング，東京都健康安全研究センターなど。

2006年度 薬学部，大学院医学薬学府入学者

学部入学83名（男39名，女44名）：推薦10名，前期64名，後期8名，私費外国人1名（出身県別：北海道1名，宮城2名，山形2名，茨城5名，栃木1名，群馬2名，埼玉6名，千葉16名，東京24名，神奈川6名，新潟1名，山梨1名，長野5名，愛知1名，静岡4名，三重1名，福岡2名，長崎1名，宮崎1名）。

修士入学105名：総合薬品科学88名，医療薬学17名

博士（薬学領域）入学32名：先進医療科学6名，先端生命科学2名，創薬生命科学23名，環境健康科学1名

○受賞

学会賞

平成18年3月27日 日本薬学会賞（日本薬学会）五十嵐 一衛（病態生化）
平成18年3月17日 平成18年度日本薬剤学会 功績賞（日本薬剤学会）堀江 利治（薬剤）
平成18年3月30日 平成18年黒屋奨学賞（日本細菌学会）高屋 明子（微生物）
平成17年9月16日 平成17年度日本生薬学会学術奨励賞（日本生薬学会）北島 満里子（機能分子）
平成18年3月10日 Lectureship Award on Cutting Edge Organic Chemistry in Asia (0th International Conference) 西田 篤司(合成)

論文賞

平成17年3月3日 Presidential Trainee Award (ASCPT) 森本 かおり（薬物）
平成17年3月28日 総合優秀論文賞（日本薬学会，物理系薬学支部）森 健一（物化）
平成17年3月28日 部門優秀論文賞（日本薬学会，物理系薬学支部）藤 秀義（物化）
平成17年6月5日 Best Presentation Award（日本レトロウイルス研究会）藤 秀義（物化）
平成17年9月2日 ベストポスター賞（第5回メタロチオネイン研究会）青山 万里子（衛生）
平成17年9月2日 優秀ポスター賞（第5回メタロチオネイン研究会）小椋 康光（衛生）
平成17年10月27日 実行委員長賞（フォーラム2005 衛生薬学・環境トキシコロジー）染川 麗良（衛生）
平成17年9月11日 EFIS bursary(European Federation of Immunological Societies) 深町 利彦(生化学)
平成17年10月8日 優秀発表賞（第49回日本薬学会関東支部大会）門脇 京子（高齢者）
平成17年10月8日 優秀研究発表賞（日本薬学会関東支部）菅 愛子（合成）
平成17年10月8日 優秀発表者賞（第49回日本薬学会関東支部大会）小幡 裕希（分子細胞）
平成17年10月21日 ベストプレゼンテーション賞（日本細菌学会関東支部）大矢 麻衣（微生物）
平成17年10月26日 Postdoctoral Poster Award (ISSX) 森本 かおり Sasitorn Aueviriyavit（薬物）

学内賞

平成17年11月17日 ベストティーチャー賞（千葉大学）西田 篤司（合成）
平成18年3月24日 大学院博士（薬学系）優秀学生賞（千葉大学）笠原 広介（分子細胞）
平成18年2月10日 オープンリサーチ2005学長賞 五十嵐 一衛（病態生化）
平成17年12月26日 なのはなコンペ2006（学生版）（千葉大学）星野 正樹（分子細胞）
平成17年4月18日 なのはなベンチャーコンペ2005（学生版）（千葉大学）伊藤 文博（製造）
平成17年12月26日 なのはなコンペ2006（学生版）なのはなベンチャー賞（千葉大学）細谷 孝博（活性構造）

2005年度 博士学位授与一覧

課程博士 (甲号)

氏 名	学位の種類	論 文 題 目	授与年月日
S. Waraporn	博士 (薬学)	Physiological function and structure of cadaverine transporter CadB (カダベリン輸送タンパク質CadBの構造と機能に関する研究)	2006年3月24日
片桐 大輔	博士 (薬学)	生体分子シミュレーションに用いる新力場パラメータの開発とタンパク質立体構造予測への応用	2006年3月24日
清水 俊之	博士 (薬学)	MKC-963によるCYP3A酵素誘導の種差に関する研究 ーヒトおよびラットPXR活性化と相互作用するアミノ酸残基の種差ー	2006年3月24日
寺田 幸芳	博士 (薬学)	Grubbs錯体を触媒前駆体とする新規異性化・環化異性化反応 ー活性種の解明及び複素環合成への応用ー	2006年3月24日
高木 恭子	博士 (薬学)	センチネルリンパ節検出薬剤の開発に関する基礎的検討	2006年3月24日
徳丸 和之	博士 (薬学)	フランの特性に基づくスピロ環化反応を用いたマンザミンAの合成研究	2006年3月24日
A. Pongpeer	博士 (薬学)	Nanoparticle formation of poorly water-soluble drug by co-grinding with polymer and solubilizing agent (高分子、可溶化剤との混合粉碎による難水溶性医薬品のナノ微粒化)	2006年3月24日
篠崎 寛	博士 (薬学)	Particle design for active pharmaceutical ingredients: Critical parameters of drug substance quality on processability of drug product manufacturing and on product quality (医薬品有効成分の粒子設計: 製剤の製造性および品質に対する原薬品質の決定的要因)	2006年3月24日
鎌田 和明	博士 (薬学)	変形菌からの天然物探索: Tubifera dimorphotheca等の成分に関する研究	2006年3月24日
D. Wannaporn	博士 (薬学)	(I) Studies on Polymer-supported Reagents (ポリマー固定化試薬に関する研究) (II) Asymmetric Vinylaziridination and its Synthetic Application (不斉ビニルアジリジン化反応の開発とその合成的応用)	2006年3月24日
岡村 敏充	博士 (薬学)	酸化ストレスに対する脳内防御システムの非侵襲的定量測定法の開発	2006年3月24日
佐々木由紀子	博士 (薬学)	ノロウイルスおよびアストロウイルスによる急性胃腸炎に関する分子疫学的研究	2006年3月24日
星野 健二	博士 (薬学)	動物細胞およびミトコンドリアにおけるポリアミン輸送機構	2006年3月24日
本間 玲子	博士 (臨床薬学)	血液凝固線溶系及びブロスタグランジン合成に対するポリアミンの作用	2006年3月24日
鈴木 真	博士 (医薬学)	フェノール性天然化合物の抗アレルギー作用に関する薬効評価と作用機序に関する研究	2006年3月24日
松田 勉	博士 (医薬学)	総合的な服薬指導支援システムの開発に関する研究	2006年3月24日
中村 悦子	博士 (医薬学)	性差を考慮した医薬品適正使用に関する臨床薬学研究	2006年3月24日

論文博士 (乙号)

氏 名	学位の種類	論 文 題 目	授与年月日
高屋 明子	博士 (薬学)	AAA ⁺ プロテアーゼによるサルモネラの病原性発現制御機構に関する研究	2005年8月12日
金子 敏彦	博士 (薬学)	ピペラジノベンゾチアジン環を有する接着分子発現抑制剤の合成および構造活性相関に関する研究	2006年1月6日
福原 正博	博士 (薬学)	Orientia tsutsugamushi の毒性決定因子および感染宿主応答に関する研究	2006年3月13日

教員の異動 (2005. 5. 1 ~ 2006. 4. 30)

H18. 4. 1

大学院薬学研究院長、薬学部長 堀江 利治
評議員、大学院薬学研究院副研究院長 石川 勉

H17. 5. 1

土屋 静子 (助手) 採用 (薬物治療学)

H17. 9. 30

佐藤 昌昭 (助手) 辞職 (活性構造化学)
友安 俊文 (助教授) 辞職 (微生物薬品化学→徳島大学工学部助教授)

H17. 10. 30

有澤 光弘 (助手) 辞職 (薬品合成化学→北海道大学大学院薬学研究科助教授)

H17. 12. 1

高屋 明子 (講師) 昇任 (微生物薬品化学)

H18. 3. 1

藤野 裕道 (助教授) 昇任 (薬効薬理学)

H18. 3. 31

有馬 好美 (助手) 辞職 (分子細胞生物学)

平林 哲也 (助手) 辞職

(薬効薬理学→財団法人東京都医学研究機構 東京都臨床医学総合研究所 主席研究員)

H18. 4. 1

荒井 緑 (助教授) 採用 (帝京大学薬学部助手→活性構造化学)

平川 秀忠 (助手) 採用

(大阪大学大学院薬学研究科博士後期課程→微生物薬品化学)

薬友会より

薬友会アドレス

<http://www.p.chiba-u.ac.jp/yakuyukai.html>

平成18年-19年 主な活動予定

- 18年 5月 会報16号発行
7月 役員会・総会および生涯教育セミナー
12月 役員会・常任理事会
- 19年 5月 会報17号発行
7月 生涯教育セミナー
12月 役員会・常任理事会

平成17年 活動報告

- 3月 新入生入会案内
(終身会員120名、含新入生90名入会)
- 5月 会報16号発行
- 7月 第14回千葉大学薬友会生涯教育セミナー
開催 (千葉大学けやき会館)
「アレルギーの基礎知識：ヒトの免疫力」
(講師4名、参加者116名)
- 12月 役員会・常任理事会 (33名出席)

資金協力をお願い

本会の活動を益々盛んにするために、会員の皆様に終身会員へのご加入とご寄付をお願いしております。

- 1) 終身会員：会費2万円。昭和48年に開設 (現在50%加入) 会員名簿を無料にて配布します。

2) 寄付：一口2千円から受け付けております。特に終身会費が1万円であった皆様のご協力をお願い申し上げます。

3) 会報、名簿への広告掲載にも、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

上記いずれのお申し込みも、〈郵便振替口座 00150-5-551796 千葉大学薬友会〉にお願いします。

各種委員会名簿

- 総務委員会 ○荒野 泰、秋澤 宏行、上原 知也、村上 泰興 (S36)、山口 直人 (前委員長：アドバイザー)
- 財務委員会 ○山崎 真巳、斉藤 和季、野路 征昭、村上 泰興 (S36)、村山 俊彦 (前委員長：アドバイザー)
- 名簿委員会 ○根矢 三郎、星野 忠次、畑 昌之、村上 泰興 (S36)、小林 弘 (前委員長：アドバイザー)
- 事業委員会 ○石橋 正己、根矢 三郎、大槻 崇、畑 昌之、酒井 信夫、大川 幸子 (S32)、小川 通孝 (S34)、戸井田 敏彦 (前委員長：アドバイザー)
- 会報委員会 ○濱田 康正、高山 廣光、牧野 一石、北島 満里子、佐藤 信範、豊田 英尚、戸塚 裕一、小川 通孝 (S34)、加藤 文男 (S47)、角田 範子 (S52)、堀江 利治 (前委員長：アドバイザー)

(○印：委員長)

第15回 千葉大学大学院薬学研究院・薬友会生涯教育セミナー（宮木高明セミナー）開催のお知らせ

日 時：平成18年7月9日（日）13：00～17：20

会 場：千葉大学 大学ホールけやき会館（1階大ホール）
（〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33）

主 催：千葉大学大学院薬学研究院・千葉大学薬友会

共 催：日本薬剤師研修センター

後 援：猪之鼻奨学会

セミナー参加費（事前予約、当日参加とも2,000円）

＜振込先：郵便振替口座00150-5-551796 千葉大学薬友会＞

（参加者には日本薬剤師研修センターより3単位が認定されます。）



生涯教育セミナー 「創薬最前線とその周辺」

- 1) 堀内 正 先生（第一製薬 創薬開拓研究所 執行役員 所長）
「21世紀の新薬開発」
- 2) 山本 一郎 先生（持田製薬 創薬研究所 化学研究室 室長）
「タンパク質構造解析を利用した創薬研究」
- 3) 長瀬 敏雄 先生（万有製薬 マーケティング本部 副本部長 開発品グループ担当）
「グローバル企業の視点から見たEBMと医薬品情報のあり方について」

宮木高明記念セミナー講演 「薬学6年制教育と宮木高明先生」

山崎 幹夫 先生（新潟薬科大学学長・千葉大学名誉教授）

本セミナーに関するご質問などは石橋正己までお願いいたします。

（活性構造化学研究室 電話043-290-2913；Eメール mish@p.chiba-u.ac.jp）

千葉大学校友会総会のご案内
平成18年度校友会総会は平成18年
10月7日（土）、けやき会館で開催
されます。現在、鋭意準備中です
ので、開催時間等の詳細は千葉大
学ホームページをご参照下さい。

生涯教育セミナーへのご招待：本年度は薬学部卒業後35年の1971年（昭和46年）3月、卒業後45年の1961年（昭和36年）3月に卒業された方々をご招待いたします。該当されます皆様は、当日受付にてお申し出ください。この機会に是非母校に足を運ばれ、その変貌振りをご覧いただくと共に、旧友と久しぶりの一時をお楽しみください。

編集後記

本号では本年度からはじまりました薬学6年制について薬友会会員の皆様に御理解頂く特集を組みました。また、薬学部の出来事を「薬学部この一年」として新たに加えました。今号を通して薬友会会員の皆様が多忙な日々の中で御自身の薬学部時代を振り返っていただけたら幸いです。発行にあたりまして、原稿をお寄せ下さいました薬友会会員の皆様、薬学部・薬学研究院の諸先生方に心よりお礼を申し上げます。表紙の宇宙から見た千葉大学キャンパス写真は米国の超高解像度衛星QuickBirdにより2005年2月6日撮影されたものです。この画像データを提供して頂いた千葉大学環境リモートセンシング研究センターに感謝申し上げます。今後とも薬友会会員の皆様の暖かい御支援御鞭撻をよろしくお願いいたします。

会報委員

濱田康正（委員長）、高山廣光、牧野一石、佐藤信範、北島満里子、豊田英尚、戸塚裕一、
小川通孝（S34）、加藤文男（S47）、角田範子（S52）、堀江利治（前委員長、アドバイザー）